せいか里山活動記録

平成24年11月10日

　本日の活動は、先月に刈り取って、はさ掛け（天日干し）したもち米の『脱穀（だっこく）・唐箕（とうみ）・籾摺り（もみすり）体験』、毎年恒例の『干柿づくり』、『シイタケの収穫』、農場体験の定例活動と盛りだくさんの内容です。昔の道具で行う脱穀・唐箕作業体験は子どもも大人も興味津々。できたもち米は約20キロもありました！そして2年前の冬に本格的にはじめたシイタケづくり。原木には待ちに待ったシイタケがたくさん!！皆で収穫を楽しみました。 忙しくもそれぞれの活動を満喫しつつ、次々につるされ、風にゆれる干し柿を見ながら、ほっと一息つく里山の一日でした。 参加者の皆様、お疲れ様でした。来月は『もちつき』の予定です。

待ちに待った
里山産シイタケ♪
大きーい！！

脱穀（だっこく）…乾燥させた稲の穂先から籾を落とす作業。 昔使われていた足踏式脱穀機で作業。初めての人も、経験者も楽しそう!

唐箕（とうみ）…収穫した穀物を脱穀した後、籾殻や藁屑を風によって選別する農具。

籾摺り（もみすり）
籾から籾殻（もみがら）を取り除いて玄米にする作業。

干柿づくりは渋柿とりから。
子どもたちも柿の皮を黙々とむきます。
大人はせっせとひもに柿をむすびます。